



<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

医療資源が不足する地域であったとしても、全ての市民が「楽しい・面白い・好き」をきっかけとしてスポーツに取り組み、「市民自らの意志と行動」により健康な状態を維持できる、そんな「鹿嶋市」を目指します。

【具体的目標(2026年度末)】①特定検診受診率の向上 60.0%/年(健康に向けた市民の「意識」を変える)

②市立スポーツ施設利用者数 40万人/年(健康に向けた市民の「行動」を変える)

<PRポイント>

【誰ひとり取り残さないヘルスケア事業】

- ① 医療データの解析や生活習慣病発症リスクの低減に知見のある民間事業者との**公民連携**で、**地域課題に取り組む**
- ② 一人ひとりの生活習慣病発症リスクに沿った運動プログラムに取り組んでもらい、病気になるリスクを減らして**みんなで健康になる!**
- ③ 「スポーツの楽しさ」をきっかけに、地域のコミュニティを形成
⇒心身の健康に資する事業と比べて手薄になりがちな**社会との繋がりを確保し、Well-being**(心身の健康+社会的な満足)を実現!

<継続的な取組を確保できる体制(図)>



<概要> 計画期間：～令和9年3月31日

<総合的な取組内容>

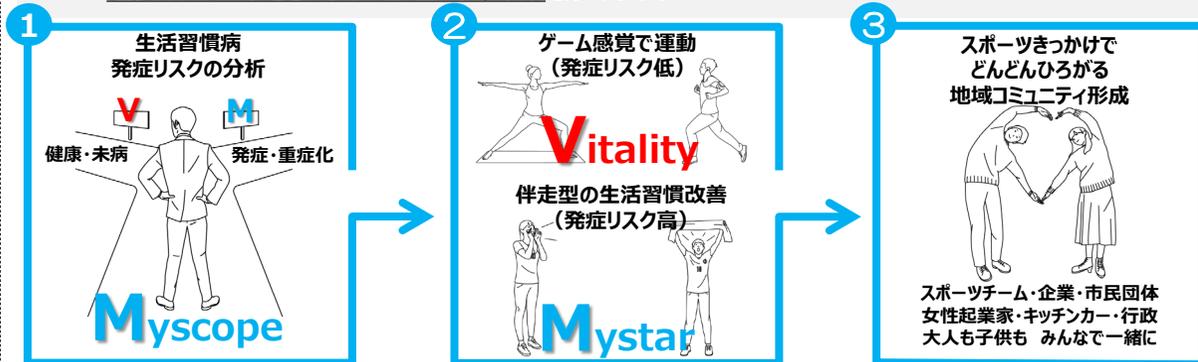
MVMヘルスケア事業とは…

市民ひとり一人の、5年後の生活習慣病発症リスクを分析「Myscope」

→リスクの低い人は、ゲーム感覚で運動するなど、健康維持増進プログラムに取り組む「Vitality」

→リスクの高い人は、伴走型の生活習慣改善プログラムに取り組む「Mystar」

⇒市民共創で取り組む「みんなのスポーツフェスタ in KASHIMA」(みんなスポ)と一体的に推進。運動やスポーツをきっかけにコミュニティ形成を進めます。



- ・自分でコントロールできる健康の実現
- ・Well-beingの実現

- ・医療資源不足地域への横展開
- ・スポーツによる地域社会の福祉向上

<現状>
・医師少数県のなかの
医師少数区域

・コロナ禍の生活変化による
生活習慣病リスク増大

<課題>
医療資源が不足していても
安心して暮らせる地域の実現



【フォローアップ欄】令和5年度以降における計画の進捗状況

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先:教育委員会スポーツ推進課
- 地方スポーツ推進計画:
第3次鹿嶋市スポーツ推進計画
- 地方版総合戦略:
鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2022年度版)
- 総合型地域スポーツクラブ:かしまスポーツクラブ

【問合せ先・電話番号】

鹿嶋市政策企画部政策秘書課
0299-82-2911